

# インフラ整備70年 講演会(第41回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

## 高速湾岸線の整備 長大橋と沈埋トンネル

～巨大構造物への挑戦～

### <講演プログラム>

1. 高速湾岸線の事業経緯(計画から整備効果まで)
2. 橋梁(横浜ベイブリッジ、鶴見つばさ橋)
3. 沈埋トンネル(東京港、多摩川、川崎航路)
4. これまでのあゆみと今後の展望

### <講演者>

- 安藤 憲一 (元首都高速道路株式会社 代表取締役専務執行役員)  
和田 克哉 (元首都高速道路公団 神奈川建設局 特殊設計課長)  
松本 修一 (元株式会社オリエンタルコンサルタンツ)  
長谷川和夫 (元首都高速道路公団 湾岸線建設局 設計課長)  
寺山 徹 (首都高速道路株式会社 代表取締役専務執行役員)

2023年 6月19日 (月)

講演会: 15:00～17:00 (入室開始予定: 14:40～)

場所: ZOOMウェビナーによるWEB配信 定員: 1,000名

写真提供: 首都高速道路株式会社

東京湾岸道路の一翼を担う高速湾岸線は、東京外かく環状道路、東京湾アクアラインなどと接続する64.0kmの路線であり、首都高速道路網の骨格として首都圏の交通の重要な役割を果たしている。

その整備は昭和45年(1970年)に最初の都市計画決定がなされてから、平成13年(2001年)に全線開通を果たすまで、約30年をかけた一大事業であり、段階的な開通により湾岸地域における物流施設・空港・娯楽施設等の利便性向上、内陸部からの交通分散による都市内交通の円滑化等に大きく寄与してきた。

なかでも、高速湾岸線を象徴する2つの長大橋(横浜ベイブリッジ・鶴見つばさ橋)と、3つの沈埋トンネル(東京港トンネル・多摩川トンネル・川崎航路トンネル)といった巨大構造物の建設は、前例のない技術的挑戦の連続であった。

本講演では、高速湾岸線の計画や整備効果、巨大構造物の設計・施工などについて、当時のエピソードを交えながら、その整備の歴史をたどる。

(本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております)

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会

後援: (公社) 土木学会

## 高速湾岸線の整備 長大橋と沈埋トンネル ～巨大構造物への挑戦～

### 《講演者略歴》

- 安藤 憲一 (元首都高速道路株式会社 代表取締役専務執行役員)  
和田 克哉 (元首都高速道路公団 神奈川建設局 特殊設計課長)  
松本 修一 (元株式会社オリエンタルコンサルタンツ)  
長谷川和夫 (元首都高速道路公団 湾岸線建設局 設計課長)  
寺山 徹 (首都高速道路株式会社 代表取締役専務執行役員)

### 講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 無料 (どなたでも申し込みできます)
- お申し込みは、協会HP (<https://www.icca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

### (注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点でキャンセル待ちとしての受付となります。(申込み完了通知メールの確認をお願いします)
- **受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)**
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 定員内の申込者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の2日前までに送付させていただきます。
- キャンセル待ちの申込者には、講演当日15時時点で空きがある場合のみZOOM入室URL(事前登録用)を送付させていただきます。なお、先着順で定員を超えた時点で入室出来ません。
- ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いいたします。

問合せ先 E-mail : [infra70@icca.or.jp](mailto:infra70@icca.or.jp)

### 「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとあって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

\*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

### <次回講演会予定> 第42回講演会 2023年7月27日(木) 15:00~17:00

テーマ： 関門自動車道の建設と50年後の今 - 東洋一の吊橋への挑戦、そして長大吊橋技術立国へ-

- 講演者： 日野 伸一 (九州大学名誉教授)  
風間 徹 (元日本道路公団 東北支社長)  
内田 道雄 (元日本道路公団 副総裁)  
芝村 善治 (西日本高速道路(株) 代表取締役副社長執行役員)  
小笹 浩司 (西日本高速道路(株) 取締役常務執行役員・保全サービス事業本部長)  
中村 順 (西日本高速道路(株) 執行役員・九州支社長)  
大城 壮司 (西日本高速道路(株) 構造技術課長)  
大竹 明朗 (大成建設(株) 土木本部 土木技術部 地盤・環境技術室長)  
鳥井浩一郎 (元鹿島建設(株)九州支社 土木担当課長)  
三田村 武 (元(株)神戸製鋼所 技師長)  
太田 武美 (元宮地エンジニアリング(株) 執行役員)

\* ZOOMウェビナーによる  
ライブ配信にて行います